

6日に「全国農業系学生フォーラム」

今月6日(日)、本学の

「薫風・満天フィールド交  
流塾」主催で「農」の新た  
な可能性を切り開くため、  
「第1回全国農業系学生フ  
ォーラム」が秋田キャンパ  
スにて開催される。

フォーラムでは大瀧村新  
規需要米推進研究会の佐藤  
忠浩会長や本学アグリビジ  
ネス学科の露崎浩准教授に  
よる講演のほか「高齢化の  
進む農村に若い力を取り込  
むにはどうすればよいか」  
や「日本の農業の未来は明  
るいか」をテーマに、学生  
がパネルディスカッション

やイベントを行う。

フォーラムは、全国で農  
業を学ぶ学生が大瀧キャン  
パスに集う「大学間交流」  
の一環。4日(金)から7  
日(月)の日程で全国6大

「農」の未来切り開く

若者の思いを広く発信

田  
秋  
カ  
ン  
パ  
ス

長し合つことが目的。農業  
の世界にもデータや分析に  
重きをおく科学が浸透する  
中、人と人が直接言葉を  
交わしあうこの大切さを、  
改めて振り返る好機とな  
るだろう。

学13人の学生と県立大生と  
が、大瀧村を舞台に農作業  
や農家を交えての語り合  
い、郷土料理作りなどを行  
う。普段は全く異なる環境  
で学ぶ学生たちがさまざま  
な経験を共有し、互いに成  
今回、企画・主催する私

たちは、フォーラムを「学  
生の意見や問題意識を社会  
へ向けて発信する場」と位  
置づけ、若者の抱く農業へ  
の思いを秋田から広く発信  
する拠点作りを目指してい  
る。交流塾の名の由来「社  
会に薫風を送り、満天の  
星のごとく輝く人物群と  
なるように」のもと私たち  
自らが、自己を豊かにし、  
社会に貢献しうる可能性を  
切り開こうと、頑張ってい  
る。

未熟な私たちだが、聴く  
人の心に響くような「思い  
の発信」をしていきたい。  
(アグリビジネス学科・大  
西夕紀)